

**健(検)診を受けて、
自分のカラダの
メンテナンスを！**

**健康せきかわ21
いきいきライフ**

5月から各種健康診断が始まります

村では、今年度も特定健診・各種がん検診を下記の日程で行います。2月の健康診査調査票兼申込書で各種健診を申し込んだ方には、集落の健康推進員を通して受診票を配布します。申し込みをされた方は、忘れずに受診くださるようお願いいたします。

健(検)診でもスタンプ券を配布します

今年度より、下記の健(検)診を受けてくださった方に、関川村商業協同組合で実施しているスタンプ券を配布することになりました。ぜひ、受診してください。

健（検）診名		実施予定日	対 象 者
特 定 健 診	集団	5 月21日（月）～25日（金） 7 月14日（土）	・ 国民健康保険被保険者 ・ 後期高齢者医療保険被保険者 ・ 社会保険被扶養者 （医療保険者の指示により受け方が違います） ・ 30～39歳の方
	施設	8 月～平成31年 1 月	国民健康保険被保険者（40～74歳）
胸部レントゲン検診		5 月21日（月）～25日（金）	40歳以上の方
胃がん検診		7 月3日（火）～ 7 日（土） 7 月9日（月）～14日（土）	35歳以上の方
大腸がん検診		7 月3日（火）～ 7 日（土） 7 月9日（月）～14日（土）	40歳以上の方
子宮頸がん 検診	集団	6 月6日（水）・11日（月）	20歳以上の女性で偶数年齢の方
	施設	7 月～12月	
乳がん検診	集団	6 月6日（水）・11日（月）	40歳以上の女性で偶数年齢の方
	施設	10月	
前立腺がん検診		5 月21日（月）～25日（金） 7 月14日（土）	50歳以上の男性
肝炎ウイルス検診			40歳以上の節目年で、 今まで肝炎検査を受けたことがない方

保健師の担当地区についてお知らせします

保健分野(健康づくり・各種健(検)診、赤ちゃん健診・子育て支援など)を担当する保健師は、下記の3名で各地区を担当します。健康に関する相談など、ぜひお気軽に声をかけてください。

保健師	佐々木 沙 織	渡 邊 みなみ	川 村 華 子
担当地区	下関・上関・九ヶ谷	七ヶ谷・湯沢・女川	四ヶ字・霧出・川北

高齢者叙勲 伊東正夫さん(下関) 瑞宝双光章を受章



このたび、伊東正夫さんに国から高齢者叙勲として「瑞宝双光章」が授与されました。伊東さんは、昭和29年に教職員に採用されてから平成2年に荒川中学校の校長を退職されるまで36年間にわたり、県内中学校で生徒を熱心に教育されました。その間、関谷中学校でも7年勤務されました。また、へき地教育や統計教育などにも実績を残され、県教科研究員、教科用図書専門調査員として県教育にも貢献されました。

平成3年からは、関川村教

育長として8年間勤務され、副読本「わたしたちの荒川」の作成、教育用コンピュータの導入や分校の統合など多くの業績を残されました。

伊東さんは「上の沢にあった関谷中学校の分校に赴任した時を思い出します。単級学校で全学年に全教科を教えた当時の苦労も良い思い出です。叙勲受章者となったのも、皆さんの支援のたまものと感謝の気持ちでいっぱいです」と受章を喜んでいました。

健康講座

157

「健診」と「検診」

新潟県立坂町病院 内科 黒川 允

この仕事をしていると、「ケンシンで引っかけた」という理由で受診される患者を多く診ますが、この「ケンシン」という言葉は、「健診」と「検診」の2種類があります。これらの意味を間違えている、あるいは混同している方は医療関係者でも多くみられますが、住民の皆様はいかがでしょうか？

「健診」は「健康診断」を略したもので、英語ではHealth check upと訳されます。文字通り「健康かどうかを診断する」ものであり、毎年実施される学校健診や職場健診を想起してください。皆さん、身長・体重をはじめ、視力・聴力などを測られていませんか？これらの検査を行い、全身の健康状態を総合的に評価されることを「健診」を受けるといいます。

それに対し「検診」は、特定

の病気を見つけるための検査であり、英語ではExaminationと訳されます。例えば、がん検診、歯周病検診、結核検診、肝炎ウイルス検診などが挙げられます。がんには、胃がん、大腸がん、肺がん、子宮がん、乳がんなど様々な種類があり、当然ながらその検査方法も、胃がん検診であればバリウムまたは胃カメラ、大腸がん検診であれば便潜血検査、肺がんではレントゲンや胸部CTという風に異なっています。

ちなみに、「人間ドック」は一般的には「健診」に分類されます。しかし、昨今の人間ドックは、大部分が有料ですが、各種がん検診がセットになっている「健診+検診」のようなオプションが多く見受けられており、当院でも施行しております。具体的には、身長や体重などに加え、胃カメラや便検査、さらには前立

腺がんでひっかかる血液検査（PSA）などに加え、肺活量などの検査も行ったりします。がん検診に限った話ではありませんが、病気の早期発見・早期治療を行うことで治療成績は当然上がりますし、糖尿病や高血圧などの生活習慣病の予防啓発には健診は非常に有効なものです。

特に言いたいことは、10〜20歳代の若年層の方でも糖尿病などを起こすことは十分あり得ます。このような病気は早期介入をしないと様々な臓器障害を起こし、治せないところまで進行する（例えば片目が失明する）こともあり得ますので、健（検）診は面倒くさがらず、必ず受けていたいただきたいと存じます。



*このコーナーへのお問い合わせは、県立坂町病院へ。

☎62-3111